

令和元年度和歌山県文化奨励賞

こやなぎ
小柳

ゆたか
裕

住 所 京都府京都市
出身地 和歌山県和歌山市
生年月日 昭和52年5月7日

◎ 業績及び経歴

昭和52年に和歌山市に生まれる。平成12年に成安造形大学造形学部造形美術科を卒業、平成14年に京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程を修了。以来、数多くの個展、グループ展に出品し、作品を高く評価されてきた。

平成16年、平面美術作家の登竜門とも呼ばれる、上野の森美術館主催の展覧会「VOCA展2004 現代美術の展望-新しい平面の作家たち」にて奨励賞を受賞し、作品が買い上げとなった。平成27年には和歌山県立近代美術館主催の「リアルのリアルのリアル」展で出品作家に選出。翌年に愛知県豊田市美術館でテーマ展出品作家に選出され、新進気鋭の画家として注目を集めている。

氏はデビュー以来、夜景をテーマにした作品を多く描いている。暗闇の中に浮かぶ街灯などの光を描く際、明るい色を使うのではなく、光源となる箇所をあらかじめマスキングテープによって被覆し、周囲を描き込んだ後、テープを剥がすことで白いキャンバス地そのものを露出させ、輝く光の表現とする。このように光を絵の具の不在によって再現する手法は、氏独特のものであり、あえて手を加えないことで生まれるリアリティーは鑑賞者に驚きを与える。また、主題となるものを描かず逆説的に強調する手法は、絵画の可能性を広げるとともに、表現とは何かを鑑賞者に考えさせる深い意図が隠されている。

さらに、夜景だけでなく花の発芽から枯れるまでを追った連作や、使用することで変化していく日用品を描いた作品など、光と同様に形のない移りゆく時間を描き留めようとする作品も手掛けている。氏の探求する「油彩による『光・時間・空間』の現代的表現」は、絵画表現の領域を独自に拡張しようとするものであり、今後もより一層の活躍が期待されている。



■現在

- ・画家
- ・成安造形大学非常勤講師
- ・京都造形芸術大学非常勤講師

◆主な表彰歴等

- 平成16年 VOCA展2004 現代美術の展望-新しい平面の作家たち VOCA奨励賞
- 平成17年 第1回倉敷現代アートビエンナーレ西日本 優秀賞
- 平成18年 第19回ホルベインスカラシッ プ 奨学者